

大型トラック 電制エアドライヤ（セントラルシャシ入出力モジュール）のリコールについて

（届出日：令和7年11月18日、作業開始日：令和7年11月19日）リコール番号 5736

UDトラックス株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。
対象車両をご愛用のお客様には、ダイレクトメールにてご案内いたしますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますようよろしくお願い申し上げます。
お客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

電制エアドライヤにおいて、修理でセントラルシャシ入出力モジュールの旧型を現行型に交換する際のプログラム書き込み指示が不適切なため、エアドライヤの再生プログラムに関するソフトウェアが最新版に更新されておられません。そのため、エアドライヤの乾燥再生動作が適切な頻度で実行されず、乾燥剤の吸湿能力が低下し、高湿度圧縮空気がエアタンク及び各エアシステム回路内で結露し凝縮水が生成されます。そのままの状態で使用を続けると、凝縮水の影響により車高調整不良等が発生することがあります。

さらに、最悪の場合、外気温が氷点下の環境において、

①トレーラ側ブレーキ回路内で凝縮水が凍結し、トレーラ側の主ブレーキが効かない、または駐車ブレーキ引きずりにより火災に至るおそれがあります。

②ブレーキ系のエアバルブ内に残留した水分が凍結し、ブレーキ異常の警告メッセージが表示されるとともに、電子制御ブレーキシステム（EBS）が作動不良に至るおそれがあります。

2. 改善の内容

セントラルシャシ入出力モジュールのプログラムを、最新版に書き換えいたします。なお、主ブレーキ異常および車高調整システム異常の警告メッセージが表示されている場合は、故障診断を行い該当する部品を新品に交換し、エア配管内の空気をパージいたします。

3. 対象車両

- UDトラックス株式会社が製作している大型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車 名	型 式	通 称 名	リ コ ー ル 対 象 車 の 車 台 番 号 の 範 囲 及 び 製 作 期 間	リ コ ー ル 対 象 車 の 台 数	備 考
UDトラックス	2PG-CD5BA	「クオン」	JNCMBN0C8HU021910 ～ JNCMBN0C8HU025097 平成29年6月9日 ～ 平成29年8月1日	2	②のみ
	2PG-CD5BL		JNCMBN0C4JU032702 平成30年3月22日	1	
	2PG-CD5CA		JNCMB02C5HU022965 ～ JNCMB02CXMU056510 平成29年7月24日 ～ 令和2年10月14日	6	
	2PG-CD5CL		JNCMB02C3HU024925 ～ JNCMB02C7JU026991 平成29年9月1日 ～ 平成29年10月5日	2	
	2PG-CG5CA		JNCMB02G2HU022022 ～ JNCMB02G6MU059441 平成29年6月23日 ～ 令和3年1月27日	20	
	2PG-CG5CE		JNCMB02G1LU053514 令和2年6月24日	1	
	2PG-CW5AL		JNCMBP0DXHU025977 ～ JNCMB02D3LU051866 平成29年9月1日 ～ 令和2年3月27日	5	
	2PG-CW5BL		JNCMB02D2JU029810 ～ JNCMBP0DOMU060070 平成29年12月19日 ～ 令和3年2月17日	3	
	2PG-CW5CA		JNCMB02D4HU023338 ～ JNCMB02D4MU060173 平成29年6月27日 ～ 令和3年2月22日	3	
	2PG-CX5BA		JNCMB02DXLU053260 令和2年5月22日	1	
	2PG-GK5AAB		JNCMB22AXJU037087 ～ JNCMB22A1MU059192 平成30年8月29日 ～ 令和3年1月19日	33	①、② 両方
	2PG-GK5AAD		JNCMB22A7JU029268 ～ JNCMB22A8MU060002 平成29年12月4日 ～ 令和3年2月16日	9	
	2PG-GK5AAE		JNCMBP0A4KU039905 ～ JNCMBP0A9MU056119 平成30年12月17日 ～ 令和2年9月29日	5	
	2PG-GK5AAK		JNCMB02A5LU048053 令和元年10月31日	1	
	（計 14 型式）	（1車種）	（製作期間の全体の範囲） 平成29年6月9日 ～ 令和3年2月22日	（計92台）	

＜ご注意＞

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には対象とならない車両もあります。詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

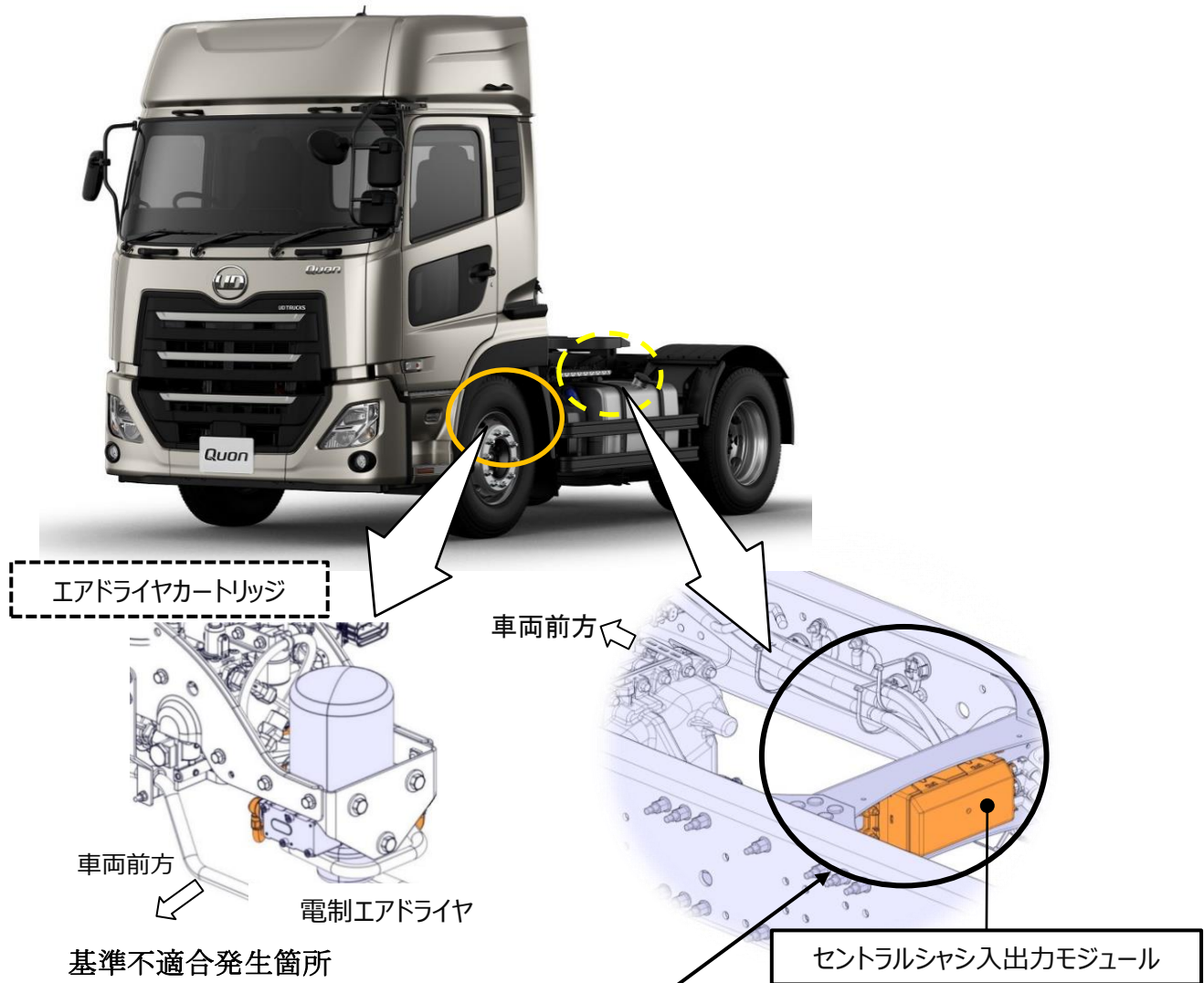
UDトラックス株式会社 お客様相談室

〒362-8523 埼玉県上尾市大字荅丁目1番地

フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～17：00（但し、会社休業日を除きます。）

改善箇所説明図



電制エアドライヤにおいて、修理でセントラルシャシ入出力モジュールの旧型を現行型に交換する際のプログラム書き込み指示が不適切なため、エアドライヤの再生プログラムに関するソフトウェアが最新版に更新されていない。そのため、エアドライヤの乾燥再生動作が適切な頻度で実行されず、乾燥剤の吸湿能力が低下し、高湿度圧縮空気がエアタンク及び各エアシステム回路内で結露し凝縮水が生成される。そのままの状態で使用を続けると、凝縮水の影響により車高調整不良等が発生することがある。

さらに、最悪の場合、外気温が氷点下の環境において、

- ①トレーラ側ブレーキ回路内で凝縮水が凍結し、トレーラ側の主ブレーキが効かない、または駐車ブレーキ引きずりにより火災に至るおそれがある。
- ②ブレーキ系のエアバルブ内に残留した水が凍結し、ブレーキ異常の警告メッセージが表示されるとともに、電子制御ブレーキシステム（EBS）が作動不良に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、セントラルシャシ入出力モジュールのプログラムを、最新版に書き換える。なお、主ブレーキ異常および車高調整システム異常の警告メッセージが表示されている場合は、故障診断を行い該当する部品を新品に交換し、エア配管内の空気をパージする。

注： 内は措置する部品を示す。 内は必要に応じて交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、フロントハッチ内車両諸元プレートの上左端に白色ペイントを塗布する。